

■会議録

会 議	平成30年度第2回社会教育委員会議
開催日時	平成30年10月30日(火)13時から17時10分
開催場所	山陽小野田市役所 大会議室 (オリエンテーション) 山陽小野田市役所→歴史民俗資料館→出合公民館→スマイルキッズ →高千帆公民館→市役所
出席者	山陽小野田市社会教育委員11名 吉本光良委員、植田眞理子委員、吉水多加志委員、能勢俊勝委員、竹中幸子委員 富永恵美子委員、高橋 茂委員、大本章男委員、平中政明委員、青木トシ子委員 浜崎一夫委員 事務局4名 宮内教育長、尾山教育部長、河上社会教育課長、江内社会教育主事
欠席者	河崎知治委員、半谷幸子委員、村上 実委員
配付資料	会議要項、施設資料等、社会教育会報
担当課	教育委員会 社会教育課
会議次第 及び結果	1 オリエンテーション ・教育長あいさつ ・委員長あいさつ ・提言書 委員長から教育長へ ・視察流れ等の説明 2 施設視察 29年度第1回社会教育委員会議(8月1日開催)で社会教育課が抱えている課題について協議を行い、その際「施設の老朽化」を重点的に取り上げることを確認している。また、「実際に施設を見学する必要がある」との委員の意見から、29年度第2回社会教育委員会議(10月13日開催)において、厚陽公民館・青年の家・きらら交流館の3カ所の現地視察を実施している。今年度の視察は残りの施設(歴史民俗資料館・出合公民館・高千帆公民館)の施設状況を確認するために実施した。 (1) 視察①歴史民俗資料館 (館長からの説明) ・展示室が狭く、小学校の社会見学でさえ1クラスが入るのがやっと。 ・照明が暗く、展示品がはっきり見えない。(特に中央部分) ・常設・企画展で展示物を変えて展示するなどの工夫をしている。 (2) 視察②出合公民館 (館長からの説明) ・老朽化しているが、壁を塗り替えるなど館としてできる対応は行っている。 ・避難場所となっているが、耐震関係の整備ができていない。 ・多くの利用がある施設である。 (3) 見学 スマイルキッズ 社会教育の施設ではないが、子育てに関する施設として今年度新たにできた施設であるため、見学した。

会議次第
及び結果

(4) 視察③高千帆公民館
(館長からの説明)

- ・ 勤労青少年ホームの施設を兼ねている。
- ・ 耐震関係の整備ができていない。
- ・ 図書館分館も利用者が使用しやすいよう、遅くまで開放している。

3 協議 (高千帆公民館研修室にて 各委員の感想)

【① 歴史民俗資料館】

- ・ 外からすぐ分かるような看板が必要である。
- ・ 暗く狭い中に多くのものが展示されている。
→シリーズ・テーマを決めてローテーションで展示する。
照明設備をつける必要がある。
- ・ 展示室と展示物の量が合っていない。
青年の家にも収蔵物がある。(2・3年後には取り壊される)
→収蔵庫の設置が望まれる。

【② 出合公民館】

- ・ 清掃が行き届いている。
- ・ 利用者の高齢化のため、エレベーターや洋式トイレの設置が必要である。
- ・ 早急に耐震診断を行う必要がある。

【③ 高千帆公民館】

- ・ 図書館分室の利用も多く遅い時間にも対応している。
- ・ 利用者の高齢化のため、エレベーターの設置が必要である。
- ・ 早急に耐震診断を行う必要がある。

4 次回会議について

- ・ 委員からの視察時のメモを事務局に送付していただき、集約する。
- ・ 次回開催は1月～2月を予定
- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区別研修会(西部地区)の連絡
11月13日(火)美祢市民会館

5 社会教育課長あいさつ